

# FAX 通信

2006年3月1日発行 No. 01-13

From KOTANI

ホームページ <http://www.kotanikk.com>

## シール概論・別冊 (13)

### 3. シール関連の規格類

JIS B 2401-2005 「Oリング」(続き)

#### ・Oリングの外観について

旧版の規格では、「Oリングの表面は、機能上の有害なきず・凹凸などはあってはならない。なお、Oリングのぼりは、機能に悪い影響を及ぼすほど、切り落としてあってはならない」となっていました。今回の改正では、JIS B 2408-2005

「Oリングー外観品質基準」(後述)の適用となり、言語の規定から実際の外観の不良別に許容される欠陥の大きさを数字で示すことになりました。

ただ、実際の適用は、検査する時点で、個々に測定して行う方法は、困難であると思われるので、外観の限度サンプルを作成(不良品を集める、また他の手段-画像などの処理など)して、比較していくことになると考えられます。

#### ・寸法許容差について

ゴム材料は、1種Aから4種Dまでの6種類が規定されています。

Oリングの太さの許容差は、すべての種類で同一で適用されますが、内径の許容差は、1種Aから3種まで同じです。

しかし、4種Cでは1.5倍で、4種Dでは1.2倍になっています。

これら規定されている材料以外では、規定はないので、基本的には、ユーザとメーカーで協議して決める必要があります。

(JISの認定を受けている会社では、規定されている材料が、明確化されていますので、それ以外の材料について)

最近使用が増加していますHNBRでの運用でトラブルが多いようです。

JIS B 2402-1 ~-5 2002「オイルシール」

この規格は、オイルシール(回転用のシール)について、規定したものです。

この規格群には、次に示す部編成があります。

- 1 第1部：寸法及び許容差
- 2 第2部：用語
- 3 第3部：保管、取扱い及び取付け
- 4 第4部：性能試験方法
- 5 第5部：外観欠陥

現状は、完全に次のISO規格と整合したものです。(1部のみを示します)

ISO 6194-1, Rotary shaft lip type seals-Part 1: Nominal dimensions and tolerances

国内では、オイルシールと言う用語で馴染みがありますが、外国ではISOで示しているようにRotary shaft lip type sealsが一般のようです。

内容は、非常に良くまとまったもので、すべての事項を完全に網羅したものです。

特に外観の欠陥などでは、写真などを示してわかり易くなっています。

(続く)

#### コードリングについて(その1)

コードリングとは、Northern Engineering Supplies Ltd が完成した加硫済のゴムを接合した極めて精度の高い寸法のOリング製品の名称です。

個別の金型を必要とせずに製造できます。

製造可能なゴム材料には

ふっ素ゴム、シリコンゴム、NBR, EPDM, クロロプレンゴムなどあります。

コードリングについてのカタログや技術資料のご要求は下記にご一報ください。

コタニ株式会社

本社：神戸市中央区浜辺通 2-1-30

TEL:078-251-5300 FAX:078-252-1158

FAX 通信の記事についてのご意見や質問は次のメールアドレスに連絡ください。

[knemoto@suite.plala.or.jp](mailto:knemoto@suite.plala.or.jp) (根本)